

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立宝栄小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	東成区
学 校 名	大阪市立宝栄小学校
学 校 長 名	疋島 和恵

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立宝栄小学校では、第6学年 70名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立宝栄小学校の結果概要

国語科の正答率は全国平均値と比較すると2.9ポイント下回っており、大阪市平均値からは1ポイント下回っている。算数科に関しては、全国平均値と比較すると2.4ポイント下回っており、大阪市平均値からは1ポイント下回っている。

国語科においては、正答数分布グラフで見ると正答数6、7問の児童の割合が全国の割合より高くなっていた。算数科においては、正答数分布グラフで見ると全国のグラフのように山なりにはならず正答数5、6問と13問の児童の割合が特に高くなっていた。

児童質問紙調査からは、「自分には、よいところがあると思いますか」の問いに肯定的な回答をする児童の割合は昨年度（83％）と比べると増加し93.3％で全国平均（82.8％）、大阪市平均（86％）より上回っている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】言語に特徴や使い方に関する領域では、漢字を文の中で正しく使うことができるか問われた問題で全国平均を大きく下回り、漢字の定着に課題が見られた。情報の扱い方に関する領域では、文章の内容や図などによる語句と語句の関係性を適切に表しているものを選択する問題で正答率は全国平均を上回っており、文章の内容を読み取り、情報と情報を関連性について正しく理解することができた。

【算数】図形と測定の領域では全国平均を上回っており、体積の意味を正しく理解し、立方体や直方体の体積を正しく求めることができた。また、示された情報を基に数量関係に着目して条件に合う時間を正しく求めることができた。変化と関係の領域では、全国平均を下回っており、百分率で表された割合と比較量から、基準値を求める問題や、単位量当たりの大きさの意味や求め方についてしっかりと理解が定着していないことがわかった。

質問調査より

「友達関係に満足していますか」（93.3％）「人が困っているときは、進んで助けていますか」（96％）からは、仲間意識を高く持ち学校生活を送っていることがうかがえる。また、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」の問いに肯定的な回答をする児童の割合は89.4％で今年度は大阪市平均値（84％）全国平均値（85.7％）を上回り、自分の意見や考えを持ち、伝えることができる児童が増えつつある。

今後の取組（アクションプラン）

・学級や縦割り班活動などで児童の活躍の場を設け、PBS（ポジティブ行動支援）に基づき、望ましい行動を育てる集団を育成するための取り組みを学校全体で実施することで、児童の自尊感情や自己肯定感を育てていく。

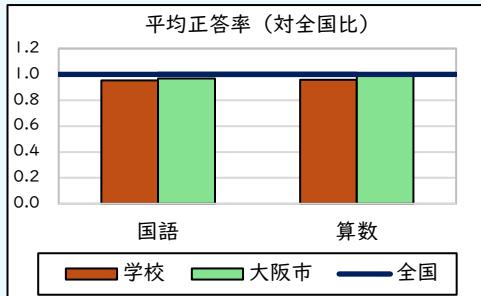
・授業の中で学習形態（ペアやグループ等）を工夫し、対話できる場を作ることで自分の意見を言ったり、友達の意見を聞いたりする経験をさらに積み重ねる。

・今年度は算数科だけでなく他の教科でも、個別最適な学びと協働的な学びの充実とICT利活用を目指し研究に取り組んでいる。引き続き授業力の向上を目指し研究を進める。また、全国学力・学習状況調査ふりかえりプリントを活用するなどして、正答率が低かった領域の学習内容の定着をはかっていく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

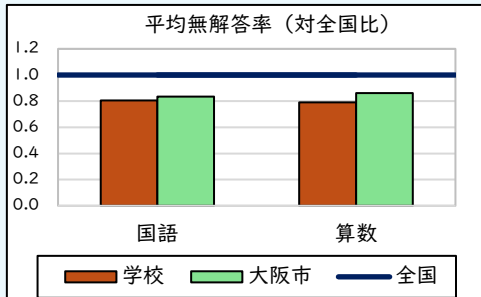
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	58	54
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



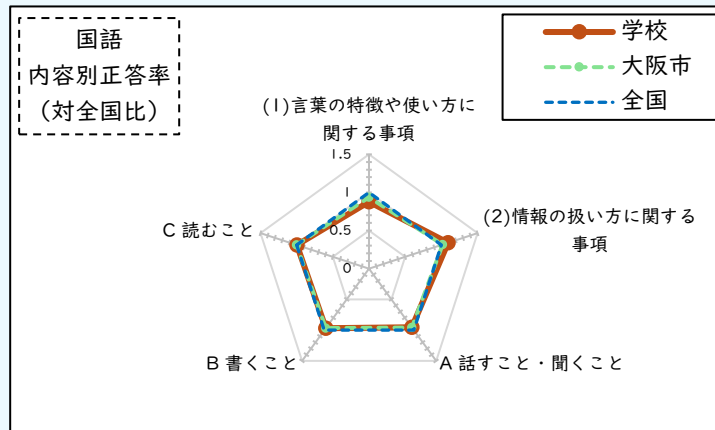
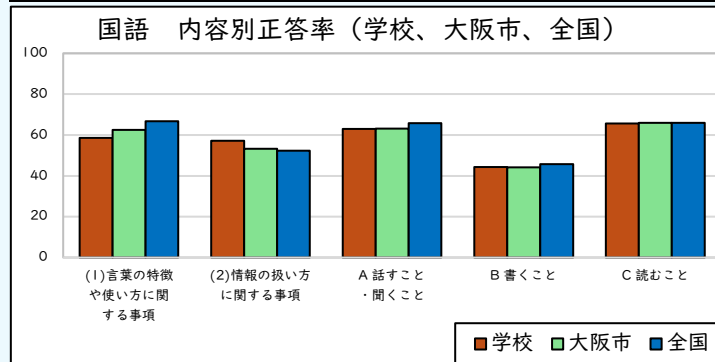
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	2.7	2.5
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



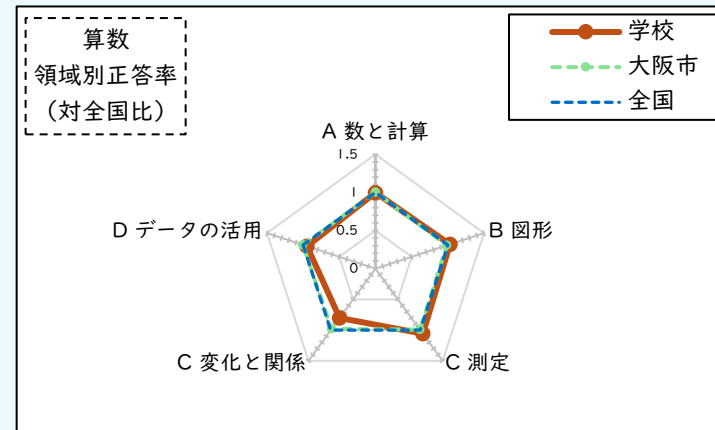
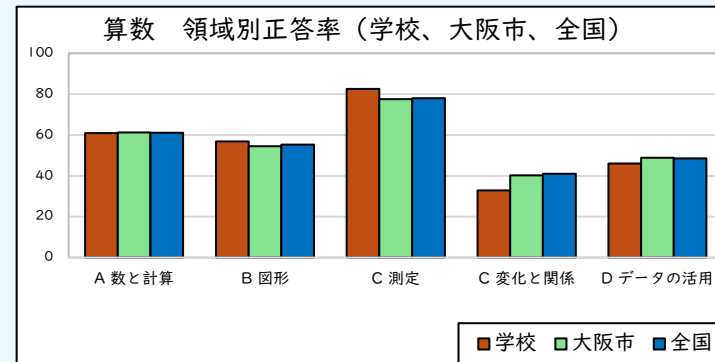
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	58.6	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	57.1	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	62.9	63.1	65.8
B 書くこと	2	44.3	44.2	45.7
C 読むこと	2	65.7	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	60.9	61.2	61.1
B 図形	4	56.9	54.5	55.3
C 測定	1	82.6	77.5	78.1
C 変化と関係	3	32.9	40.3	41.1
D データの活用	4	46.0	48.8	48.6



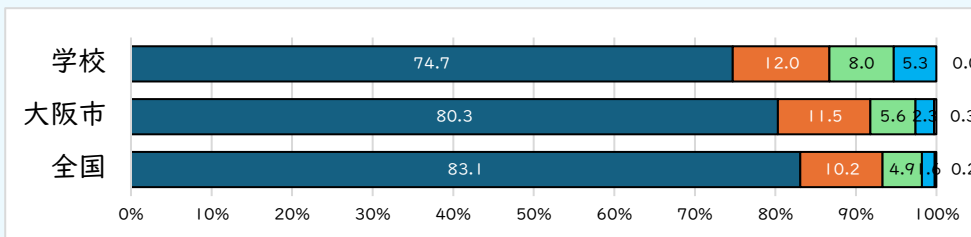
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より（1）

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

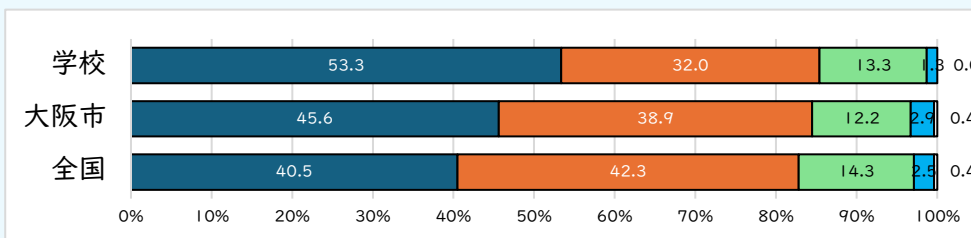
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(1)	朝食を毎日食べていますか
-----	--------------



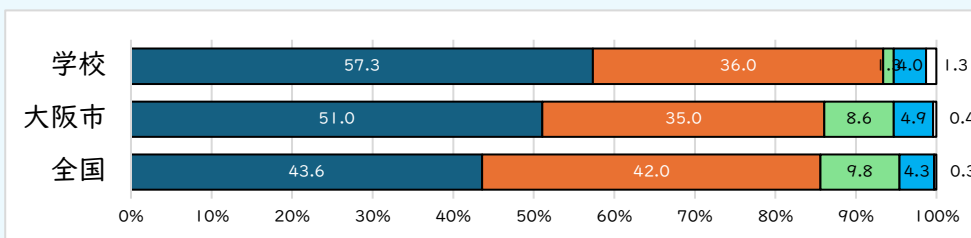
- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(2)	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
-----	--------------------



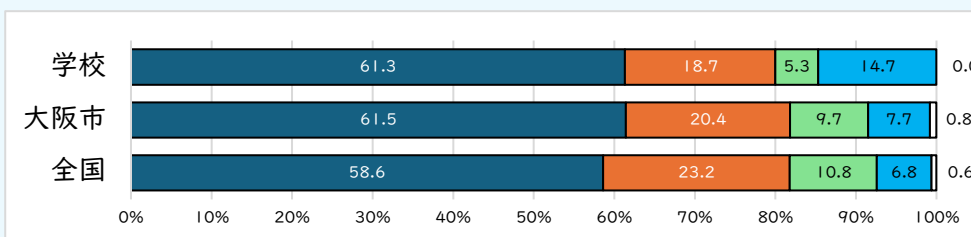
- 1 している
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



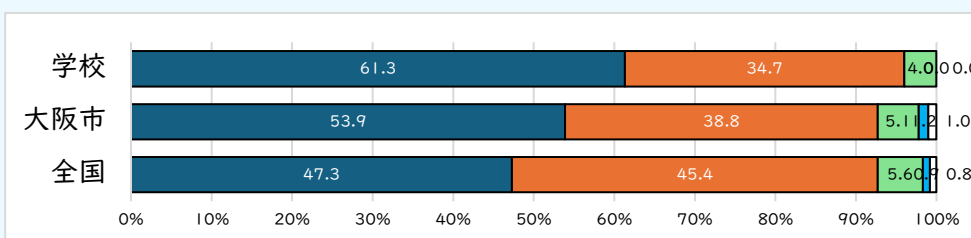
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(10)	将来の夢や目標を持っていますか
------	-----------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(11)	人が困っているときは、進んで助けていますか
------	-----------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

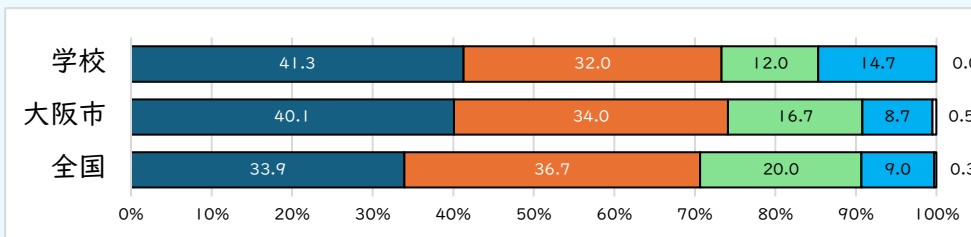
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より（2）

1 2 3 4 5 6 7 その他・無回答

質問番号 質問事項

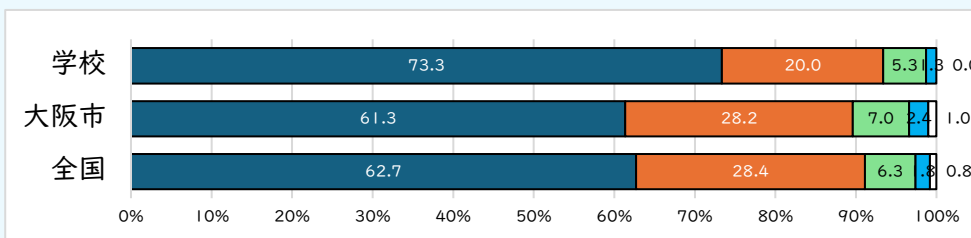
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(13) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



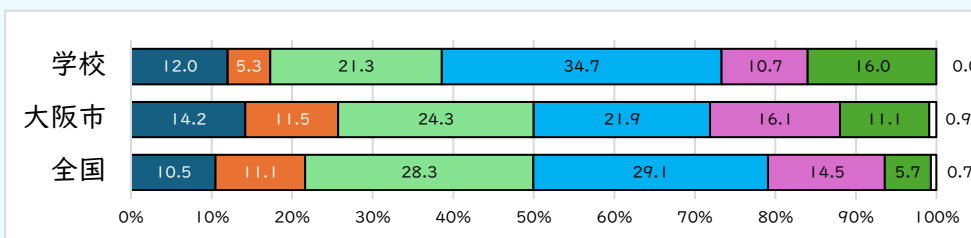
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(17) 友達関係に満足していますか



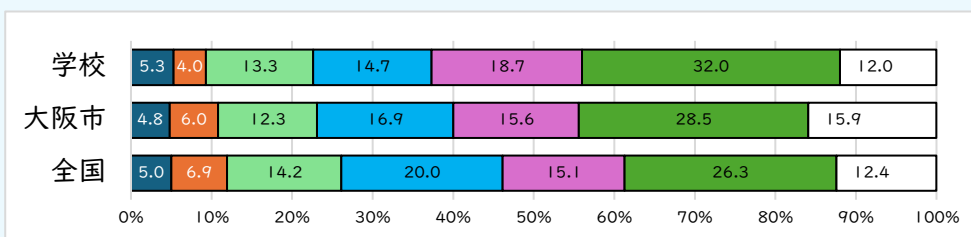
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(23) 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



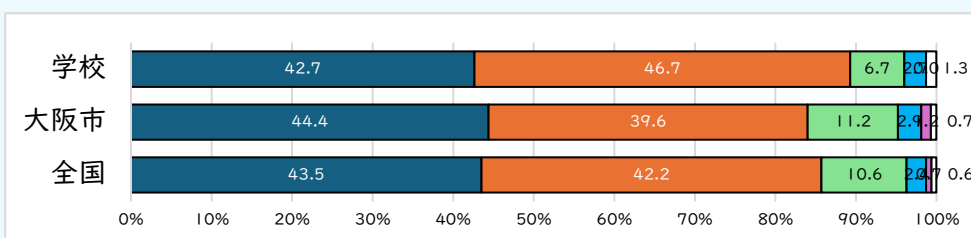
1 3時間以上
2 2時間以上、3時間より少ない
3 1時間以上、2時間より少ない
4 30分以上、1時間より少ない
5 30分より少ない
6 全くしない

(26) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



1 2時間以上
2 1時間以上、2時間より少ない
3 30分以上、1時間より少ない
4 10分以上、30分より少ない
5 10分より少ない
6 全くしない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

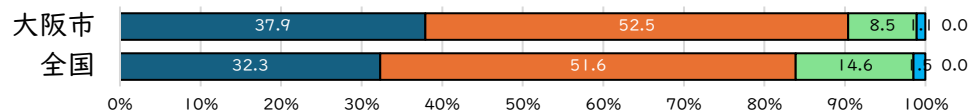
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

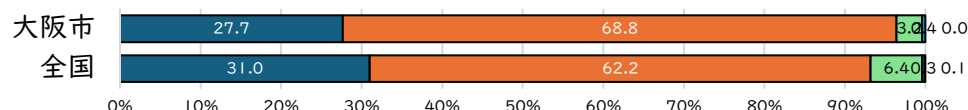


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(29)

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

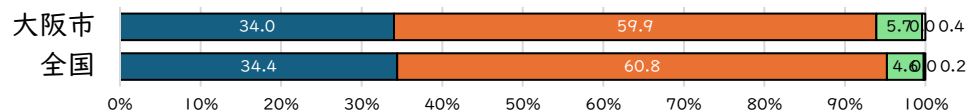


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(32)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学習指導において、児童が、それぞれのよさを生かしながら、他者と情報交換して話し合ったり、異なる視点から考えたり、協力し合ったりできるように学習課題や活動を工夫しましたか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、行った

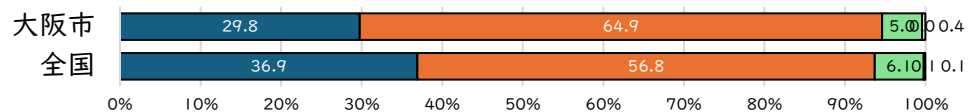


- 1 よく行った
- 2 どちらかといえば、行った
- 3 あまり行かなかった
- 4 全く行かなかった

(41)

調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法等を合意形成できるような指導を行っていますか

【学校の回答】 1 よくしている

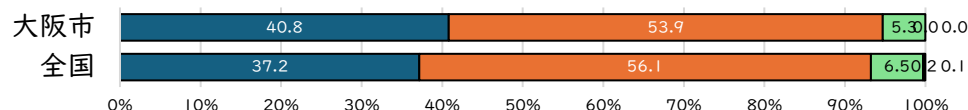


- 1 よくしている
- 2 どちらかといえば、している
- 3 あまりしていない
- 4 全くしていない

(58)

児童が学びを深めるための指導改善に向けた取組として、教員がコンピュータなどのICT機器の効果的な使い方を学ぶために必要な情報や研修、自己研鑽の機会等を十分に設けていますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、当てはまる



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない